

資源管理に必要な情報の提供事業 I

漁海況予報関連調査

久野正博・山田浩且・藤田弘一・沖大樹

目的

本県沿岸の漁況および海況の調査研究を行い、その結果に基づいて漁海況予報を行うとともに、漁海況情報を迅速に関係者に通報して漁業資源の合理的利用と漁業操業の効率化を図り、漁業経営の安定化に資する。

方法

熊野灘および伊勢湾に設定した定点(図1)において、毎月1回の海況調査を調査船「あさま」で行った。漁況は主要漁業協同組合から統計資料の入手および電話によ

る聞き取りによって収集した。収集した漁況・海況データは取りまとめて解析し、漁海況速報として毎週1回発行した。

結果の概要

詳細については平成15年度漁況海況予報関係事業結果報告書(漁海況データ集)で報告したので、以下は概要を記す。特異的な現象についても漁海況データ集に記載した。なお、漁況については「資源評価調査」で報告した。

1. 黒潮流路は、2001年末にN型になって以降、潮岬以東では直進基調が持続し、2003年度は前年度に引き続き小規模な変動が主体であった。小規模な変動のうち、5月は不安定なB型、6月に一時的なC型流路となった。6月後半にD型を経てN型に戻り、その後は年度末までN型が持続した。

潮岬沖の黒潮は、4月～5月前半は黒潮小蛇行の通過に伴って離岸基調、5月後半以降は接岸基調で経過し、熊野灘沖で接岸傾向が強まることもあった。9月中旬以降は黒潮北縁を小冷水渦が頻繁に通過し、10月前半や11月末頃、3月上旬には一時的な黒潮内側反流に発達した。

黒潮小蛇行は11月下旬～2月上旬、九州南東沖に停滞していたが、2月中旬以降に東進した。2月下旬に九州南東沖に新たな黒潮小蛇行が形成され、3月末にかけて規模をやや拡大させて停滞した。

2. 熊野灘沿岸の水温は、2003年4月以降は高め基調で経過し、5月には黒潮内側反流の影響で高水温傾向がやや強まった。6月には暖水波及が弱まり、平年並み～やや高め、7月は表層で低めの他は平年並みとなった。8月・9月は平年並み～低め、10月は100～200mで低めとなった他は平年並み、11月はほぼ平年並みであった。12月は200mで平年並みの他は高め、2004年1月は100～200mで平年並みの他はやや高めで経過したが、2月に全層で低め傾向となり、3月低水温傾向が顕著に

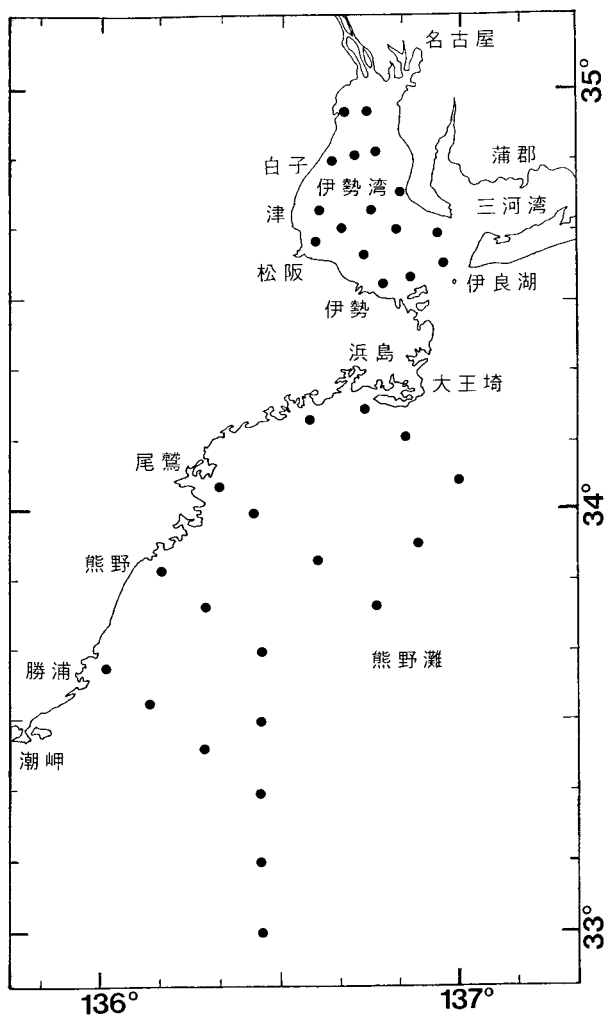


図1 熊野灘および伊勢湾の定線観測点

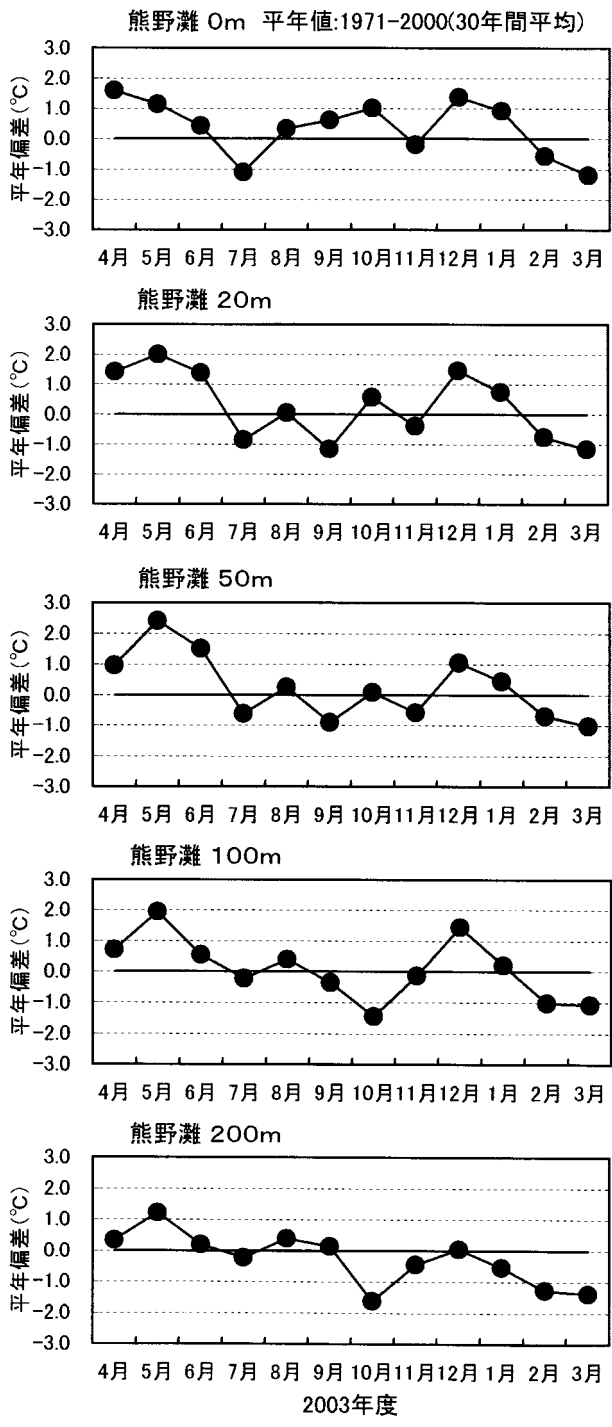


図2 熊野灘沿岸定線17測点平均の平年偏差

なった。

熊野灘への暖水波及は、伊豆半島沖で黒潮が接岸基調で推移したことから小規模な黒潮内側逆流が比較的多く見られた。やや規模の大きかった黒潮内側逆流は黒潮流路がB型となった5月に見られた。小規模な黒潮内側逆流は、9月下旬、10月中旬、12月上旬、1月上旬および

び3月上旬に見られた。潮岬に黒潮が接岸基調で経過したことから、南からの暖水波及（暖水舌）も比較的多く見られた。12月下旬、1月下旬、2月上旬の暖水舌はやや発達し、特に12月下旬の暖水波及は一部が遠州灘に流入した。

浜島の定地水温（図3）は、前年度冬季の低水温が3月下旬に解消し、4月は平年よりやや高めで経過した。5月上旬は高水温傾向が強まったが、5月中旬～7月上旬は平年並みで経過した。7月中旬～下旬および8月中旬は冷夏の影響を受けて平年より2℃程度低くなったが、9月上旬～中旬は残暑の影響で平年を2℃近く上回った。9月下旬～10月下旬は平年よりやや低め、11月にやや高めとなった。12月中旬にやや低めとなった他は、3月下旬まで平年並み～やや高め基調で経過した。

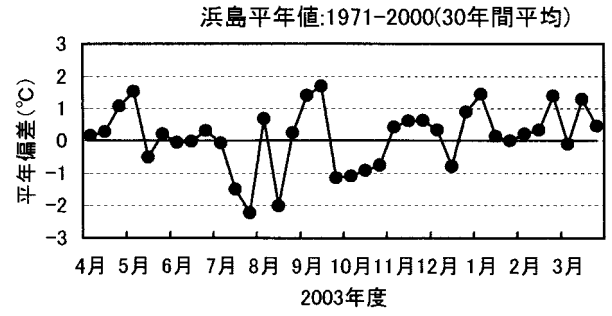


図3 浜島の旬別定地水温の平年偏差

3. 伊勢湾の水温は4～5月は低め基調、6月は高め基調、7～10月は低め基調、11～12月は高め基調、1～3月は概ね平年並みで経過した。（表2、図4）。

伊勢湾の塩分は全般に平年並み～高め基調で経過し、8月は台風10号による出水の影響により表面で低め～かなり低めとなった。

底層における貧酸素水塊（DO2ppm以下）の出現は6月から確認され、7月には湾奥部と湾中央部～湾口部の三重県側海域に広く拡大し、7月の貧酸素水塊の規模としてはここ数年になく大きかった。8月には台風10号による強風の影響で貧酸素水塊の規模は著しく縮小し、湾中央部の深場に限られて分布した。しかし、9月には湾奥部～湾中央部の三重県寄りの海域を中心に再び規模を拡大した。10月も同海域を中心に継続して分布していたが、11月にはほぼ消滅した。

白子の定地水温（図5）は、4月～7月上旬は概ね平年並み基調で経過した。7月中旬～下旬および8月中旬は冷夏の影響を受けて平年より2～3℃程度でも低くなっ

表1 沿岸定線17測点平均水温・塩分

月	水温 (°C)					塩分 (psu)				
	0m	20m	50m	100m	200m	0m	20m	50m	100m	200m
4	18.9	18.4	17.1	15.6	12.5	34.44	34.72	34.69	34.63	34.46
5	20.3	20.4	19.3	17.0	13.2	34.30	34.70	34.66	34.65	34.49
6	21.8	21.5	19.2	15.8	12.2	33.95	34.48	34.65	34.59	34.44
7	23.3	20.8	17.4	14.8	11.5	34.03	34.54	34.63	34.55	34.41
8	26.8	23.2	18.6	15.4	11.7	32.80	34.04	34.56	34.56	34.43
9	27.0	23.3	18.5	15.0	11.7	32.69	33.75	34.48	34.54	34.42
10	24.5	24.1	22.1	15.7	10.6	33.80	33.99	34.21	34.54	34.39
11	21.4	21.3	20.7	17.8	12.1	34.32	34.35	34.39	34.54	34.45
12	20.7	20.9	20.1	18.4	12.4	34.19	34.40	34.45	34.50	34.46
1	17.6	17.4	16.9	16.0	12.3	34.66	34.66	34.60	34.57	34.44
2	15.3	15.1	14.9	14.0	11.4	34.69	34.68	34.67	34.59	34.41
3	14.7	14.6	14.4	13.7	11.0	34.63	34.65	34.64	34.59	34.40

表2 浅海定線全測点平均水温・塩分・DO

月	水温 (°C)			塩分 (psu)			DO (ppm)		
	0m	10m	B 1m	0m	10m	B 1m	0m	10m	B 1m
4	11.8	11.6	11.9	30.79	31.66	32.79	9.2	9.1	7.6
5	15.6	14.1	13.9	25.12	31.70	33.02	10.2	8.2	5.9
6	21.6	19.2	17.7	28.29	31.32	32.48	8.8	6.7	3.7
7	22.8	20.4	18.9	25.68	31.88	33.03	8.0	4.2	2.5
8	26.4	23.6	21.9	19.18	30.75	32.06	7.5	5.2	3.2
9	26.0	23.1	21.6	27.13	32.12	33.10	7.4	5.3	2.8
10	21.8	22.1	21.9	29.03	31.03	32.56	8.6	6.2	3.2
11	18.6	19.0	19.9	30.11	31.58	32.81	7.3	6.6	4.9
12	15.9	16.2	17.4	31.06	31.51	32.59	8.6	7.9	6.5
1	10.6	10.6	11.0	32.27	32.35	32.53	8.7	8.5	8.4
2	8.6	8.8	9.6	32.14	32.76	33.07	9.7	9.5	8.9
3	9.2	9.3	10.0	31.90	32.36	32.90	9.0	8.9	7.9

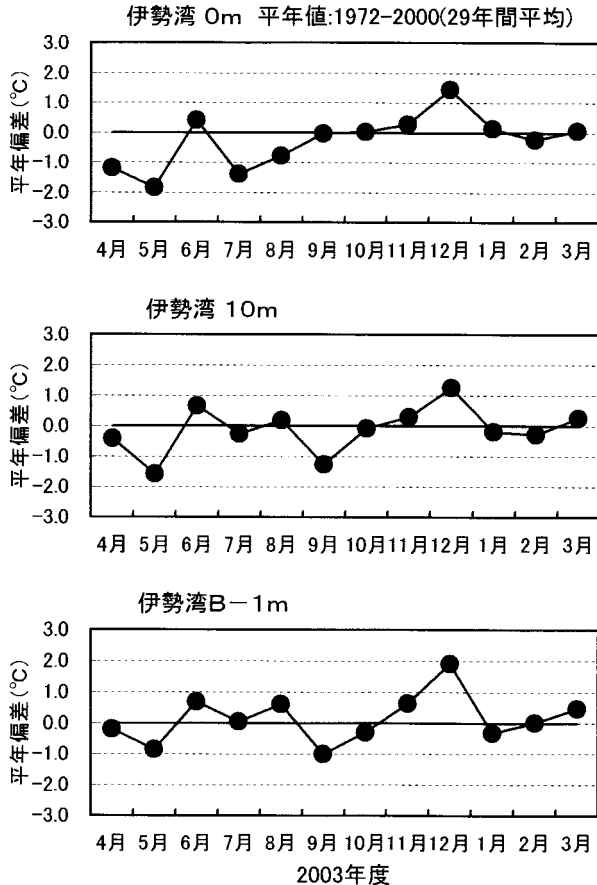


図4 伊勢湾浅海定線全測点平均の平年偏差

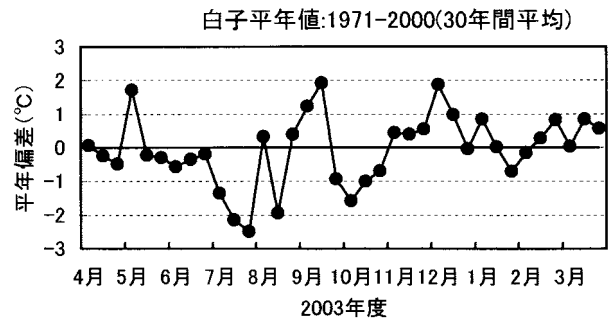


図5 白子の旬別定地水温の平年偏差

たが、9月上旬～中旬は残暑の影響で平年を1～2℃程度上回った。9月下旬～10月下旬は平年より1～2℃程度低め、11月にやや高めとなった。その後は1月下旬にやや低めとなった他は、3月下旬まで平年並み～やや高め基調で経過した。

関連報文

三重県 (2004) : 平成15年度漁況海況予報関係事業結果報告書 (漁海況データ集)。